

まきだより

平成25年10月15日発行 第3号
神石高原町牧ふれあいセンター内
牧自治振興会まきお知らせ隊

納涼の夕べに集う

8月14日(水)牧ふれあいセンターで開かれた納涼の夕べには約120人のみなさんが集まりました。お盆で帰省された方もたくさん参加して、屋台めぐりや盆踊りで



楽しいひとときを過ごしました。

屋台はポプラ会や子ども会育成会など地元の有志がイカ焼き・かき氷・金魚すくい・ヨーヨーつりなど出店しました。また、神石踊娘隊きらきら星の踊りが花を添え、ビンゴゲームや花火で盛り上がりました。



和気あいの運動会



9月8日(日)牧山村公園芝生広場において牧区民運動会が行われました。前日までの雨がやみ、きれいに晴れ上がった空の下、お年寄りから幼児まで約80人が楽しく汗を流しました。恒例の地域対抗競技では宇賀が優勝されました。

運動会の後は、みんなで昼食をとりました。今年はふれあい工房で作ったカレーライスもあり、おなかいっぱい笑顔いっぱいの会食でした。



編集後記

まきお知らせ隊では、地域おこし協力隊にお手伝いいただきながら牧自治振興会のホームページを作成しているところです。それに先立ちブログを立ち上げました。牧の日常の話題をお知らせします。「笑顔あふれるふれあいの里まき」で検索してみてください。

ふれあい弁当配達始まる

9月11日(水)牧ふれあい工房で第1回目の「ふれあい弁当」の配達が行われました。調理スタッフは、できるだけ地元産の野菜を使い健康的でおいしいお弁当になるよう苦心しているそうです。

初回は79個の注文があり、出発式の後、配達スタッフがそれぞれの担当地区に向かいました。お弁当の配達を通して安否確認や見守り活動を行い、地域づくりに役立てていきたいと思っています。



「牧ふれあい友の会」発足

地域づくりの柱の一つとして牧の出身で地域外に暮らしている方々との交流があります。地元で暮らす人と離れて暮らす人とが一緒になって牧をより良くするために協力していこうというものです。お互いに気軽に話し合ったり連絡を取り合ったりできるようになればいいと思います。

そこで、「牧ふれあい友の会」を立ち上げ、牧出身の方に年会費1000円で加入していただき、広報紙や行事の案内・地域の情報を定期的に送ることになりました。加入を希望される方は牧自治振興会事務局まで是非ご連絡ください。

牧のお宝

牧子ども会

「子は宝」と言いますが、文字通り牧地域の大事な宝である子どもたち。現在、幼児2名、小学生3名、中学生6名です。牧子ども会では、夏休みに牧ふれあい工房の外壁に楽しい絵を描いてくれました。町花・町木であるヒゴタイとヤマボウシにかこまれた笑顔の子どもたちが描かれています。この絵のようにみんな明るく元気に育ってくれることを願っています。



この写真には牧子ども会以外の子どももいます。